

11/25 (日) チャペルコンサート VOL.28

今年最後のチャペルコンサートは、フルートとピアノの演奏をお届けします。深まる秋のひと時、美しい旋律が溶け合う心地良い音楽をお楽しみ下さい。

入場無料 16:00～

プロフィール

小室左和子(フルート)

大阪音楽大学卒業、同大学専攻科修了。在学中渡仏し、St.Maximam été academyにてフルートクラス受講。なにわ芸術祭、新人演奏会(日本フルート協会主催)、ジョイントリサイタル等出演。現在、ミニコンサートや慰問コンサート、ホームコンサート等で演奏。宝塚栄光教会会員。



大矢牧子(ピアノ)

東京音楽大学付属高校卒業。東京コンセルヴァトワール尚美本科修了。同研究科修了。1994年、横浜市民広間演奏家公開オーディションに合格。以来同演奏会に出演。現在は喫茶アマデウス、カフェDSGでのライブ、美術館久保惣のミュージアムコンサートなどに出演している。今秋神戸での20周年記念リサイタルで好評を博す。



プログラム

《Flute》
愛のあいさつ (エルガー)
シチリアーノ (J.S.バッハ)
ハンガリア田園幻想曲 (ドブラー)

《Piano solo》
アベマリア (リスト)
ラ・カンパネラ (リスト)
他



教会の春・夏・秋・冬・・・幼児・児童祝福式

毎年11月には、幼児・児童祝福式が行われ、子どもたちの成長を感謝し、皆で心を合わせて祈ります。子どもたちは前に出て、牧師から一人一人祝福を祈っていただきます。はにかみながらも嬉しそうな子どもたちの顔を見るのは、本当に喜びのひと時です。子どもは、神様から与えられた祝福であり、イエス様も幼な子を愛され、「幼な子らをそのまゝにしておきなさい。わたしのところに来るのをとめてはならない。天国はこのような者の国である」と言われました。子どもの素直な心を喜ばれたのです。



祝福式は誰でも参加できます。子どもたちが、これからも神様と人々に愛されて、健やかに成長できることを願われる方は、ぜひご参加下さい。今年は11月11日に行われます。参加を希望される方は教会までお問い合わせ下さい。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

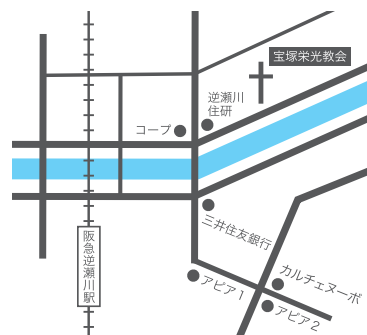
〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: iwama@takara-eiko.com http://www.takara-eiko.com

希望のダイヤル 0797-77-3746
毎週更新。24時間つながります。

わたしたちは統一教会、ものみの塔（エホバの証人）、モルモン教ではなく正統的なキリスト教会です。もしお困りの方はご相談ください。

ポッドキャスト
始めました。
ホームページから
利用できます。



稲刈りの終わった田んぼに渡り鳥の季節がやってくる



試練に会っても

私たちの周りには、なぜこんな辛いことが起こるのかと思うことがたくさんあります。しかし、神の真実は疑うべきではありません。聖書はこう言っています。「あなたがたの会った試練はみな人の知らないものではありません。神は真実な方ですから、あなたがたを、耐えられないほどの試練に会わせることはなさいません。むしろ、耐えられるように、試練とともに脱出の道も備えてくださいます。」(1コリント10:13)

今、実際に大きな試練の中を通されている方は、“これが耐えられない試練ではないなどと、どうして言えるか”と、反論されるかもしれませんね。確かに、この世の常とは思えない、耐え難い試練を経験することがあります。しかし、どんな苦しい試みの中でも、主の顧みりが失われることはありません。

私たちの主イエス・キリストは、私たちと同じ人となり、私たちの経験する試練をことごとく味わってくださいました。神の栄光を捨てて、十字架にかかけられました。頭にはいばらの冠をかぶせられ、両手両足を釘付けにされ、ののしられ、ツバをかけ

られ、ついに「わが神、わが神、どうしてわたしをお見捨てになったのですか」と叫ばれて、神からも捨てられてくださいました。その苦しみは、みな私たちの罪のためでした。

傲慢(ごうまん)で、わがままで、愛のかけらもない、こんな私のために、罪のない神の子イエス様が、あのような苦しみを受けてくださったのです。それほど私たちを愛してくださったのです。何という愛でしょうか。

このキリストの愛を知れば、どんな試練にも耐えることができるのです。自分の罪を悔い改め、キリストの十字架が自分のためだったと信じて罪が赦された人は、少々の試練には押しつぶされません。それどころか、果敢に戦って、堂々と勝利を収める人生を歩むことができるようになります。

もしあなたが、今大きな試練の中におられるなら、キリストのもとにおいでください。そして、どんな試練の中でも神の真実によって守られる幸いをいただいてほしいと願います。



「桂の大木」－ 再び徳本^{とくこう}へ －

苔むした木橋や吊り橋など
歴史をしのばせる 徳本峠の道
ひときわ目をひくのは 桂の大木
沢や溪谷など 湿気のあるところを 好むといわれるが
峠への道には このような桂の木が 他にも何本もある

まだ紅葉となつてはいなかったが
やがて黄色く 染まっていくであろう

ほのかに甘い香りを 漂わせるのも 桂の木だ
大きな身体で 繊細な空間を紡ぎ出す 不思議な木

春 雪の消えた六月頃
登山道には ニリンソウの愛らしい群生に 出会えるようだが
もうこの時期は 秋の装いとなっている

サンカヨウも花のあとで 濃紺の実をつけ
周辺の木々が 色づき始め
ナナカマドの青い実が 赤く変わる頃
峠は 白い雪の長い静寂に おおわれるのである

木には希望がある というように
木は切られても また新芽を吹き
若枝の絶えることはない
地におろしたその根が古い
幹が朽ちて 塵に返ろうとも
水気にあえば また芽を吹き
苗木のように 枝を張る

(聖書)